

令和7年度 高志中学校1年 「高志学」福井市郷土歴史博物館・養浩館庭園研修

- 1 期 日 10月16日(木)
- 2 場 所 福井市立郷土歴史博物館・養浩館庭園
- 3 参加生徒 84名
- 4 報 告

<福井市郷土歴史博物館>



福井市郷土歴史博物館では、クラスごとに案内役の方に引率していただき、詳しい説明をお聞きしながら展示物を見学しました。

常設展では、縄文時代から現代までの福井の歴史について学びました。縄文時代には現在と地形が異なり、海であった地域もあったことに驚いていました。古墳時代には、福井の地に多くの古墳がつかられ、足羽山に多く残されていることを初めて知った生徒もいました。近代では震災や空襲による甚大な被害がありながらも、復興

して成長し続ける福井の姿を学ぶことができました。

企画展「能と狂言～桃山の遺風～」では、越前が能面の産地であったことを知ることができました。また、装束の丁寧なつくりや迫力のある能面などをじっくり観察し、福井にゆかりのある能や狂言への理解を深めました。

<養浩館庭園>

越前松平家の別邸兼庭園であった養浩館では、「御月見ノ間」や「御湯殿」などについての説明を受けました。「御月見ノ間」では月が水面に映るように計算して設計されており、古くから様々な工夫がなされていたことを知ることができました。また、小学生のときに習った書院造を実際に見ることで、当時の建築様式への理解を深めることもできました。「御湯殿」では、現代のサウナのような蒸し風呂や、床の一部を取り外して池へと水を排水する仕組みに感心していました。



〔生徒の感想〕

- ・ 福井地震や戦争の空襲により福井も大きな被害を受けたが、それでも、もとの街へと戻した福井のすごさを感じました。
- ・ 能や狂言は興味のある内容だったので、とても参考になりました。
- ・ 養浩館には小学校のときにも行ったことがあったが、新たな視点から学ぶことができました。